

自己評価の視点	気付いたこと・課題
Ⅰ 保育理念	<ul style="list-style-type: none"> ・理念にある安心できる環境作りについて引き続き日頃の保育の中で何を大切にすべきかなど職員との話し合いを行ったり、園の想いや保育理念について語り合う時や伝えることを心がけた。 保育の見直しの必要性も強く感じている。 ・地域への理念の周知について園だよりなどに書いたり積極的な声かけなど行った。 ・一人ひとりの子どもの思いや子どもの声を大切にし安心できる場所作りを引き続きしていきたい。各クラスや職員一人ひとりがどのように認識しているかの再確認の必要性を感じている。 ・保護者に対しても理念について声に出して伝える機会を多く作りたい（行事の際など）
Ⅱ 子どもの発達援助	<ul style="list-style-type: none"> ・園の生活の中で「あそび」を重視し、その中で子どもの発達に応じたあそびを展開できるように職員間での話し合いをしながら、日頃の保育に取り組めたと思うが職員の意識差クラス差を感じたので園内研修や外部研修などをもっと取り入れたい。 ・発達サポートの先生とも連携を取りながら相談したり、一人ひとりの子どもの発達を職員間で共有し子どもに関わるよう職員間で心がけた。 ・自然の中でしかできないいろんな経験・体験ができるような環境作り遊び取り入れ子どもの発達支援をしていきたい。
Ⅲ 保護者に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の保育の様子をドキュメンテーションや動画配信を通して伝えたり、園だよりなどを工夫し発信することで保護者との共有ができつつあるがまだまだ、細かい配慮は必要だと思う。マンネリ化になってしまわないように発信の方法を工夫していきたい。また、今年度は一時保育の利用者も増えてきているので一時利用の保護者にも同じような配慮・保育の発信はしていきたい。 ・日頃より細かな配慮、声掛けを心がけ話しやすい環境作りを心がけたり、相談等がある時には時間を設け個別対応をしたりし丁寧な対応を心がけた。これからも寄り添う子育て支援を行いたい。 ・保護者アンケート等で保護者の思いを聞く機会を設けることができる一方で園の思いや行事の意味も伝え共通理解が出来るよう取り組んだ。引き続き行いたい。
Ⅳ 保育を支える組織的基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・食育への取り組みや健康教育を栄養士・看護師の協力のもと年齢別に計画的に取り組むことができている。担任だけではなく園にいる全ての職員が子どもたちのことをあたたかく見守っていけるような保育環境作りを今後も質をあげながら取り組んでいきたい。 ・質の向上のために研究保育を行ったり、園内研修等の取り組みを行っている。今年度はサークルタイムも取り入れ職員間の思いを一つにできるよう子どものことを話題にした会話がたくさんできるような雰囲気作りを心がけていたが、まだまだ不十分に感じている。内容の見直しも必要性がある。今後も職員の外部研修の機会を多くし園内だけではなく園外の保育情勢を学べる機会を増やしみんなで学ぶ姿勢を今後もしていきたい。